



TITLE:

先輩よりのお言葉

AUTHOR(S):

加藤, 寛; 谷口, 繁紀; 徳田, 竜一; 藤原, 健治; 山本, 大輔; 加地, 健一; 下村, 勝紀; Tabart, Micheal

CITATION:

加藤, 寛 ...[et al]. 先輩よりのお言葉. 岩本ゼミナール機関誌 1999, 3: 139-143

ISSUE DATE:

1999-03-24

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/56850>

RIGHT:

先輩よりのお言葉

一期生 東京エレクトロン勤務
加藤 寛

4回生の皆さん、ゼミ論お疲れ様でした。

この季節が来るといつもちょっとだけ大学時代に戻った気がします。
内容の理解度も大学時代同様、字面ばかりでちっとも頭には入ってきません。

同期の近況をこの場を借りて紹介させて下さい。

2月に石井君が結婚します。もう一人の木村君はフランス留学中です。

私はというところんまりとサラリーマンをしています。

だんだん顔と名前が一致しなくなってきた、さびしい限りですが卒業生、
在ゼミ生の更なる活躍を期待しています。

さいごになりましたが岩本先生、自慢の教え子たちを輩出・量産して下さい。
簡単ですが挨拶に代えさせていただきます。

岩本ゼミの皆様へ

二期生 住友銀行勤務
谷口 繁紀

まず初めにゼミ編集、完成おめでとうございます。この時期にこのような形で岩本ゼミ
岩本ゼミOBとして皆様の前に登場できることを幸せに思っています。今年は何といっ
ても第1回目の青竹会を開催してくださったことが、我々OBにとっても最も嬉しかった事
です。現ゼミ生の皆様に深く感謝致します。

私も京大を卒業して2年が経ち、仕事の幅も少しずつ広がってきたのですが、それにつ
れて自分の時間が削られていくような気がします。心のゆとりを持ちつづける大切さを感じ
ながらも今の自分に何ができるかを考えて毎日を過ごしています。仕事、勉強、プライ
ベート共、バランスよくこなしたいですね。そして、ずっと夢を持ち続けましょう。今し
ている事が何なのかわからなくても、後になればその意味がわかるはずです。くそ真面目
な話になってしまいましたが、まあ、とにかく「楽しくいきましょう」

I don't know where I'm going . But I sure know where I've been.

4期生のみなさまへ

二期生 日本オラクル株式会社勤務

徳田 竜一

第四期生の皆様ご卒業おめでとうございます。この時期が来ると、自分自身が論文を作成した時のことを思い出します。今回ご卒業の皆様も様々な努力をして書き上げたことでしょう。今から読ませて頂くことが楽しみです。

さて、今回は私が最近痛切に感じたことについて触れたいと思います。現在私が働いている日本オラクル株式会社は1999年2月5日に店頭公開市場に株式公開を致しました。公開当日大幅に値上がりし、時価総額は8000億円を越え店頭公開市場で一番となりました。巨額の創業者利益がもたらされ、社員全員が恩恵を受けました。しかも、日本で5人で創業して約8年という短い期間で公開まで辿り着きました。

ここで私が感じたことは、リスクを取れば大きな成功ができるということです。世の中は大きく動いています、この2・3年で有名企業が次々と倒産した事実からも明らかなように、もはやどんなに優良な大企業でも大丈夫ということは全く言えないと思います。リスクを取ってチャレンジをしない企業は淘汰の憂き目にあい、また、企業内でもチャレンジ精神のない社員は淘汰されるでしょう。

今回ご卒業の皆様もどの職場でも活躍できる素地は十分にあると思います。問題はリスクを恐れずにチャレンジし続けられるかということにあると思います。皆様が各職場にて様々なチャレンジ精神を発揮し、大成功を収めることを心から願っております。

岩本ゼミのみなさんへ

二期生 東京三菱銀行勤務

藤原 健治

機関紙第3号出版おめでとうございます。今年も無事、このメッセージを寄せることができてうれしく感じています。みなさん論文作成のときは大変でしたでしょうが、ここに載っている後輩の新しい考え方から多くを学ばせていただきたいと思います。

最近、仕事をしながら重要に感じることは、「事象をどのような切り口で切っていくか？」ということです。この切り口を多く持てばもつほど発想を膨らませることができます。しかし、仕事をしているとついこの感覚をなくしてしまい、一定の見方で切っている自分に気がつくのです。

岩本ゼミ、大学生活ではいろいろな人と会い、多くの話をするでしょう。この瞬間に切り口を1つでも多く学んでください、また切り口の発見方法を自分の物にしておい

てくださいね。

それでは青竹会で刺激をくれる後輩に会えるのを楽しみにしています。

ゼミ機関誌出版に際して

二期生 公正取引委員会勤務

山本大輔

四期生の皆様、御卒業おめでとうございます。3年間のゼミでの成果となるゼミ論も、こうして無事出版できたことで、今、四期生の皆様はとっても満足した気持ちでいることと思います。

ところで、私が公正取引委員会事務総局に入局して、まもなく2年になります。現在私は、公正取引委員会事務総局審査局に配属されており、ここは、会社などに立入検査を行って、独占禁止法違反事件を取締るところです。業務自体は、証拠などに基づいて事実を明らかにし、会社などの行為が独占禁止法に違反するかどうか判断する、ということになります。

個々の事件の内容はいろいろですが、業務として要求されていることは常に同じで、ある意味で当然すべきことばかりです。ただ最近思うのは、この当たり前のことを当たり前にやれるようになるには結構時間がかかる、ということです。この当たり前のことというのが、あらかじめ紙に書いてあればそれほど苦労はしないのですが、残念ながら紙には書いてありませんし、常に誰かが教えてくれるとは限りません。何が当たり前かということは、自分で考えるしかないのですが、そのためには、普段の業務をこなす際に、どうしてここでこうするのか、ということを常に考える（私は「詰める」と言っています。）しかないのではと思っています。

四期生の皆様だけでなく、ゼミで引き続き勉強される方も、そういう風に考える習慣を身に付けられたら、きっと将来役に立つと思います。皆様の御活躍を期待しています。

卒業生への言葉

三期生 トヨタ自動車勤務

加地 健一

早くも4期生が卒業する時期になりました。

無事に卒業できる皆様、おめでとうございます。

様々な理由により、もう少し学生で過ごす皆様、

一部の方々には応援のエールを、一部の連中には、

「ええかげんにせんかい。」という言葉を送りたいと思います。

岩本ゼミも、女性の比率が上がったりと、様々な意味で活発になっているようで何よりです。優秀な学生を優先して、10名という限られた人数を新しく迎え入れるのであり、決して、一部の権力者の個人的な思惑により、選ばれているのではないことを祈ります。

卒業される皆様は、これから、様々な分野に進んで行くのですが、岩本ゼミでの経験は、十分に社会でも通用するはずです。学生頃の勉強は社会にでても・・・というのは、言い訳でしかなく学生頃の全てを、いかにこれから活用するかというチャレンジが待っているのです。何年かして、皆様が、岩本ゼミでの経験がこのような所で役に立った、という話を聞くのを、楽しみにしています。(ちなみに、現在、私は、自動車の生産関係の仕事ばかりしているので、ゼミ対抗ディベートでの勉強は、まだ少しも役に立っていません。)

青竹会は、2年に一度ということになったようですが、20世紀最後の年での青竹会を楽しみにしています。

最後にもう一度。卒業、おめでとう。

三期生 ソニー勤務

下村 勝紀

友人いわく、社会人になって学生時代を省みるとき、過去に感傷的な気持ちを抱くことはあっても、過去から何かを学び取る余裕はないそうですね。まったくの同感。

たぶん、バラ色の人生を掴み取るまでは、イバラの道を歩くものかもしれませんが、そのイバラの道すらもバラ色に楽しむ人格になりたいものです。

ともあれ、卒業おめでとう。

三期生 デロイト・トーマツ勤務

Tabart. Micheal

"Congratulations everybody.

I hope you enjoyed your time in Mr Iwamoto's seminar as much as I did.

I also hope you learnt a lot from the seminar - I am sure you all did. I am sure that the experiences shared and the lessons learned during your time in the seminar will help you in whatever you choose to do from now on.

I wish you all luck in the future - whether you choose to study further, or begin to work. If you ever have the chance to travel to, or work in Australia, please contact me and let me know. (I could be soon returning to Japan, however.) I will continue to update my contact details, and please feel free to contact me any time.

Once again, good luck with what you have decided to do from now on.

P.S. Iwamoto-sensei, can you please translate this?